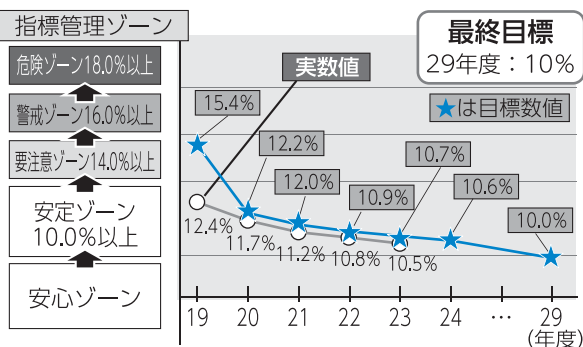


厳しい財政状況にありますが、財政健全化の道筋に沿って財政運営を行ってまいります



③ 実質公債費比率

平成23年度決算では10.5%となっています。今後とも比率が極端に上昇しないよう財政運営を行い、最終目標の10%を目指します。

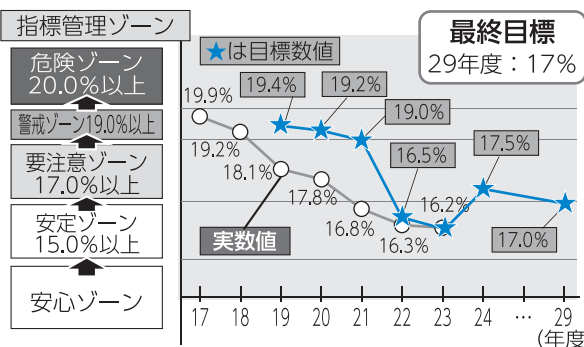
■平成23年度の状況

計画	実績
10.7%	10.5%

実質公債費比率とは？

公債費比率と同様に財政構造の健全性を示す指標です。公債費比率が一般会計だけを対象とした指標であるのに対し、実質公債費比率は、企業会計や一部事務組合も対象に含めた市全体の指標です。過去3カ年の平均値で示され、この比率が25%を超えた場合は「早期健全化団体」となります。平成17年度決算から使用されるようになった新しい指標で、平成19年度決算から公表が義務づけられました。

●計算方法 分子：概ね市全体会計の公債費（元利償還金）
分母：概ね市の標準財政規模（国が定める基準）
※分母、分子の計算方法が公債費比率とは異なります。



② 公債費比率

平成15年度、16年度の20.7%をピークにその後低下傾向をたどっています。平成23年度決算では16.2%で、目標数値（★印）の16.2%を達成しました。今後の借入、特に普通建設（投資）への借入を考慮することにより、現状維持に努めます。

■平成23年度の状況

計画	実績
16.2%	16.2%

公債費比率とは？

財政構造の健全性を示す指標です。標準財政規模（全国统一のルールに基づき計算した各地方公共団体の一般財源必要額）に対して、長期の借入金の返済額がどの程度かを測るものです。一般的に20%を超えると「赤信号」とされています。



●計算方法 分子：概ね一般会計の公債費（元利償還金）
分母：概ね市の標準財政規模（国が定める規模）

表1 一般会計の予算執行状況

科目		予算現額	収入・支出済額	執行率 (%)
歳入	市税	264億1,384万円	137億4,661万円	52.0
	地方譲与税	8億5,400万円	2億9,625万円	34.7
	地方消費税交付金	19億3,100万円	10億3,011万円	53.3
	地方交付税	77億5,889万円	56億2,069万円	72.4
	国庫支出金	135億4,465万円	66億4,777万円	49.1
	道支出金	36億4,784万円	8億7,368万円	24.0
	諸収入ほか	248億1,912万円	44億2,202万円	17.8
	合計	789億6,934万円	326億3,713万円	41.3
歳出	総務費	18億7,996万円	8億4,236万円	44.8
	民生費	220億1,045万円	101億5,363万円	46.1
	商工費	39億9,169万円	25億1,685万円	63.1
	土木費	52億9,410万円	22億1,849万円	41.9
	教育費	61億0,100万円	20億3,447万円	33.3
	公債費	81億8,258万円	30億1,118万円	36.8
	職員費	96億8,522万円	46億6,141万円	48.1
	諸支出金ほか	218億2,434万円	108億0,584万円	49.5
合計	789億6,934万円	362億4,423万円	45.9	

一時借入金の執行状況

区分	現在高
一般会計	銀行など民間資金 0円

←続き

◆一般会計（執行状況は表1）
053大作戦（ステージ3）や、拓進小学校建設、若草町市営住宅建設などを進めています。
幹線道路の整備は、植苗停車場道線道路整備工事や緑町2条通線歩道整備工事などを進めています。
生活道路は、宮前6号線などの舗装新設工事を、公園整備では、緑ヶ丘公園の整備のほか、地域の街区公園の施設や遊具更新などを行っています。



平成24年度上半期（4月から9月まで）の各会計の執行状況は表のとおりです。厳しい経済情勢を踏まえ、工事などは可能な限り早期発注に努めました。

平成24年度上半期の予算執行状況